

# 今一番人気の本にみる 「子供の夢」

幸政 馬居 大 静

一 マンガではなかった

冒頭から言い訳めいて恐縮だが、表題の問いに答える前に、この問いへの私なりの視点をのべておきたい。当初このような問いの立て方に、誤解と疑問を持ったからである。さらにこの誤解と疑問を解く過程で本から子供の夢を理解するために必要な観点に気づいたからである。

では何を誤解し疑問をもったか。  
「今一番人気の子供の本にみる」子供の

る。その意味で、この疑問は私にとって新たな学びの契機となった。

確かに後に示すように、低学年といえども彼ら彼女らはかなりの読書家である。ただし、その読書の意味は、私のような大人とは異なることも否定できない。リテラシーが固まってしまった大人にとって読書の意味は一般的に情報収集と考えられる。加えて、子供たちに読書を奨励する活字信仰者の中には、本を読む行為自体に価値を置く方がいるやにみえる。それはステータスシンボルを獲得するために読書という記号を消費しているにすぎない。

このような大人にとっての読書とは異なる子供自身の読書の意味とは何か。いいかえれば、リテラシー形成過程にある子供に固有の読書の価値とは何か。これが本稿の課題に対する私なりの問いである。

もともと何事もデータがなければ始まらない。どうするか。こまつた時はまず、現場に聞く、こと。そこで本誌の昨年三月号で生活科の授業を紹介した静岡県伊東市にある市立南小学校(伊郷章校長)の中井久美子先生に協力を願った。

### 三 子供たちの好みは

表一は、中井先生が担任する二年二組の子供たちの読書調査の結果をまとめたもの。表一2はこの調査結果ともにおくつてくれた「おすすめカード」から子供の記

夢」を具体的な本の名前を紹介いただくと同時に、その底にある子供の願いの分析もお願いできれば幸いです。これが編集部の依頼の内容だが、誤解したのは「今一番人気の子供の本」という部分。この文字から「マンガ少年ジャンプのことかな」と思ってしまった。だが本誌からの依頼である以上、子供とは小学校一、二年生であることに気づくべきであった。

加えて、私が得意とするマンガ、とりわけ少年ジャンプは小学校中学年がスタート地点。本来の読者層は高学年から中学生である。最近では高校生を越えて大学生やマンガアダルトにまで広がっている。低学年も読んでいることは承知しているが、その内容分析をからませて低学年の「子供の夢」を論ずるにはジャンプは高度すぎる。

もともとこのことは本稿の準備中に気づいていた。そのため新たに低学年の子供が読者のマンガ雑誌「コロコロ」の分析を考え、その趣旨を編集部に確認した。ところが、返ってきたのは「今一番人気の本」とはマンガではなく活字メディアの本のこと。この説明を聞いて私はしばしば絶句。その後二つの疑問が生じた。情報収集と子供の読書能力への疑問である。

### 二 低学年の子供に本とは？

まず情報収集の問題。私は生活科の対象となる子供が読む本に関する情報を全くもに語ってくれた。

「帰りの会」で「今自分が一番好きな本を一冊教えて」と子供たちに問い掛けました。次々と本の名前を発表してくれました。それを黒板に書き、同じ本を好きな子は手を上げさせ人数を書き加えました。こんな方法でもよかったですか。だれかがいうとそれのつてくる子もいました。だいたい子供たちは私が読むとその本が好きになる場合が多いんですけど。それにクラスの人数は四〇人で一人休んでいたの三十九人ですが、数があわないのは手を上げなかった子供もいるからです。

たった一つのクラスの、それもこんな簡単な方法で調査したデータで、「今一番人気の子供の本」を特定してよいのか、と疑問に思われる方もおられよう。中井先生自身もそう感じておられるようす。

当然である。そのため、以下述べることはあくまで仮説である。本誌の読者が自分の身近な子供たちの愛読書の意味を読み取るヒントにしたいだきたい。

だが他方でいかに大規模で厳密な手法による調査データによっても、現代日本の小学校低学年の子供たちが好む本と夢を特定できないことも再度強調しておきたい。さらに、いかに調査技術が向上しようとも、このような調査の実施は慎重になるべきと

つておらず、そのことに何ら疑問を抱いていなかった。それには理由がある。一般に、文字で書かれた質問紙による調査が可能なのは、小学校三、四年生が最低の年齢とされるからである。もちろん特別な条件のもとでの小規模の実験的な研究は幼稚園以下の子供を対象に行われることもある。だが、小学校低学年とは特定文化の中でコミュニケーション能力の重要部分を占めるリテラシー(文字の読み書き能力)の学習過程段階にある子供たち。彼ら彼女らに調査票を読んで答えを書くことができる一定水準のリテラシーを要求する大規模な実験調査は不可能だからである。たとえ実施してもデータの信頼性は低い。

そしてこのような研究者の視点は、編集部の説明への二つ目の疑問である子供の読書能力への疑問につながる。すなわち、リテラシーを培う過程にある子供の読書能力とはどのようなものか。絵本や童話以外にどれほどの本を読んでいるのか。

私は生活科実践への参与観察を通じて、また自分自身の四人の子育てを通じて、現代の子供理解には自負があった。それが私の生活科研究やマンガを始めとするメディアと子供との関係に関する研究の基盤ともなっている。だが、「活動と体験」あるいは「絵と吹き出しとコマ割り」へのこだわりが、かえって読書と子供の言語操作能力獲得との関係の軽視に繋がっていたようであ

考える。理由はリテラシー形成途上の子供に重要なのは、全国平均値ではなく、一人一人にとっての価値だからである。

私には四人の子供がいるが、現在高二の長男は小学校入学時に文字がほとんど読めなかった。四番目の現在小三の次女の場合にはひらがなどころか漢字も覚えていた。そのため同じ親の子供でも、長男が興味を持つ本と次女が好む本が異なるのは当然のこと。加えて、小学校低学年時の差は、能力より成長度の差が大きい。人生全体の尺度から見れば長男と次女のいずれのリテラシーが優れているか判断不能である。

さらにもう一つ中井先生の疑問と関連して指摘しておきたいのは、この時期の子供にとつて、何を読むかは身近にいる人から得る情報がポイントであること。中井先生の「だれかがいうとそれのつてくる子もいますよ」と「だいたい子供たちは私が読むとその本が好きになる場合が多いのですけど」との言葉は、この年齢の子供にとつて当然のことなのである。

上記二つのことから、全国平均の一般的な読書傾向を知ったとして、それを自分のクラスの子供たちに当てはめても無意味であることが理解できよう。

ただし、矛盾するようだが、伊豆半島にある小学校の中井先生のクラスの読書調査の結果が、全国のどの小学校の二年生の子供にも当てはまることも否定できない事実

である。理由は良くも悪くも現代日本は高度の情報化が進行した社会であり、とりわけ出版業界は東京への一極集中が最も進んだ分野だからである。中井先生のクラスの子供たちが好む本は全て全国どの書店でも売っているはず、その結果、表1に列記された本の名前を、本誌の読者であればまず知らない方はいないはず。したがってそのストーリーをあえて説明

表-1

☆印は学校文庫にある本、その他は家からもってきた本	(男12 女5)
①「カタカタふるえる ゆうれい話」	(女3)
②「わかったださんのプレー」	(女2)
③「いたずらまじよ子のへんしんごっこ」	(女2)
☆④「ぼうしのなかはとらがりあたま」	(男2)
⑤「きかせとたいよう」	(男2)
⑥「わねないほどこわい話 死をよぶゲームソフト」	(女2)
☆⑦「ぼく男の子じゃないよ」	(女1)
⑧「こまったさんのカレーライス」	(女1)
⑨「先生におにくる幽霊」	(女1)
⑩「あかげのアン」	(女1)
⑪「トムソーヤの冒険」	(女1)
⑫「二ひきのこぶた」	(女1)
⑬「ぶたついのいちご」	(女1)
⑭「ながべつをはいたねこ」	(女1)
⑮「ガラスめだまときんのクワヤギ」	(男1)
☆⑯「おれたち先生の同級生」	(男1)

①小堀正夫・文 原ゆたか・絵 岩崎書店 ②寺村師夫作 糸井和子絵 ③徳田知子作 ゆーちみえこ絵 ④肥田英代作 福田岩穂絵 PHP ⑤インソップ原作 おにがりつこ文 おさきしんご絵 国土社 ⑥日本児童文学者協会編 鶴成社 ⑦西本和子作 西川おさむ絵 PHP ⑧寺村師夫 あかね書房 ⑨学校の怪談編集委員会編 ポプラ社 ⑩モンゴメリ作 まだらめ三保文 ポプラ社 ⑪マークトウエイン 筑英社 ⑫ジエイコブス原作 (アニメ絵本) 学研 ⑬林明子 福音館書店 ⑭シャルルペロー (アニメ絵本) 辰岡書店 ⑮白ロシア民話 福音館書店 ⑯斎藤隆郎 岩崎書店

表-2

「夜の学校はミステリー」(TM)  
 「おはけの本で、エレベーターにのれませうか?か、かえってくるあしおととか、ぴょういんにてるゆうれいか、しんれいしんしのろいか、ねむれないほどこわい話がたくさんあります。この本をよんだら、おはけはこわいとおもいます」  
 「まほうのパチクリ」(TR)  
 「わたしは、まほうの「チクリ」という本を、よんで、おもしろいことが、あります。セミが、ジジリとないているのは、あくまの「チクリ」とあくまじゃない「チクリ」がいるからです」  
 「ぞくぞく村のま女のオバタン」(YA)  
 「こわしいことに、ほうきにだけはのれませぬ。もちろんこつそりれんしゆうしてますとも、うらにわに、ほうきの山を、どんとおいであります。ていうところがおもしろいです」  
 「ルマーと18びきのりゅう」(TY)  
 「どうゆう話かエルマーという少年がりゅうをたすける話です。どうゆうところがおもしろいか、かいいものをしてるところがおもしろいです」  
 「カエルのカータ 大かつやく」(MK)  
 「わたしは、このカエルのカータをみて すずめがくちばしてつづいてカエルをたべてしまいました」  
 「なあになあに」(HM)  
 「なあになあにのおはなしは、ほうすでどうぶつがでてきました。ぞうさんは、からだが大きくてぶーにははいれませんでした」  
 「かめ二〇〇円」(KW)  
 「かめを、お田さんにはいしよで、200円でかいました。おにいちゃんがかめを二ひきいじめてかめがゆかしたにもくついでなくなっていました。さがすおにいちゃんかわるかつたとおもいます」  
 「どんなケーキがいいかしら」(YA)  
 「えんちよう先生がようちんのおかわりパーティーに、ケーキを作ることにしました。いろいろなやんで みんなのかおのしたけーきをつくるお話です」  
 「いいわのきよかわ」(AK)  
 「わたしは、平和のきよかわという本をよみました。でてきたのはジョーじいさんと、テッドと、しゅんべいと、ビルとジムとチャーリーと、おかあさんと、おとうさんです。そのははと、ちはしゅんべいのおとしさんと、おかあさんです」  
 「ちよっぴりママ ふうちゃん」(KY)  
 「わたしははじめて本を、よんだ時、びつくりしました。おなかがいなくなっても(8)かぞえるとなのおつちやうからです」  
 「きつねのかかみをとのぞいてごらん」(UK)  
 「小さなトマトのおみこのこつこのしょうたさんは、きょうは、じぶん一人りでおさらやコップをあらわなければいけないのに男の子がやってくれてよかつたな」  
 「あしたぶたの日 ふたじかん」(YH)  
 「三年三組のりやすくんが、カベしんぶんをつくりました。うそのことがほんとうになつてしまいました。あしたは、ぶたの日です。まじしゅがぶただらけになつてしまいました」  
 「べんぎんたんけんたい」(OM)  
 「さいしよべんぎんたながカヌーにのつてもくてきちについてどんどんおいていつて十四ばんめべんぎんたがけてそれでライオンにあつてたいちようはきにせびいってライオンがついていきました」

(子供の記事は原文のままです)

ークを広げることから、読書への興味・関心を喚起させることをねらつての工夫。これはリテラシー形成途上にある子供たちへの読書指導として非常に重要な視点を提示している。本稿の課題と関連して、その理由を二点指摘しておきたい。

まず一つは、既に述べてきたように、リテラシーの能力は一人ひとり異なる。そのため、この時期に重要なのは、大人の勝手な解釈で良いと判断したものを与えるのではなく、いかに自分に相応しい本を彼ら彼女らが自分で選択できる力を培うか、である。そのためには、選択する機会とともに選択する意欲自体を喚起させる場を用意しなければならない。

もう一つは子供の夢の解釈。子供の夢と本の内容を関連づけるためには、まず子供が本のどの部分を読んでいるか確定しなければならぬ。だがそれはよほど厳密に吟味しなければ確定できないことである。そのために、問題は子供の夢の理解ではなく、子供自身の情報ネットワークにまかせられるかどうかである。

ところで、このような観点から、表1に列記された本の内容を読むと、かなり共通する部分があることに気づく。また、既に述べたように、表1-2をみると、子供は大人とは異なる別次元での楽しみ方をしていることも理解できる。

では、共通部分や別次元とは何か。この

点について、私見がないわけではないが、ここでは次に紹介する中井先生の話しをヒントに、本誌の読者である先生方自身の課題として考えていただきたい。

「担任としてできるだけ本を子供たちに読み聞かせる努力をしてきました。最初は私が選んだ本を読んでいたが、だんだんと子供たちが自分で選んでいる本を「先生これ読んで」と持ってくるようになりまして。私が読んで本に興味をもって買ってもらう子もでてきました」

子供はこわい話が好きです。女の子が好きなのは、こまったさん、や、わかつたさん、です。この作者のもの全て好きとていいと思います。話しやすいうちのものはリズムカルということでしょうか。ストーリーがはつきりしていて、

本をもつてくる子は読み込める子です。私が読むのを聞いている子は場面の面白さに興味を持つようです。ストーリー性に興味をもつのはかなりレベルの高い子です。女の子の方が長い文が好きですね。女の子の方がまっていますよ。言葉とかストーリーを理解できるし。

男の子は単純なおもしろさや刺激を求めらるんでしょうか。ファミコンの世界とつながっているからでしょうか。絵がおもしろくて話しかわっているのが好きですね。本というより図鑑をよくみてます。恐竜関

四 子供たちの声

表1-2は、昨年の秋の読書週間の際に、子供たちが互いに自分で読んで面白かった本の紹介文を記入するために作成した「おすすめカード」の内容。先生方が学年全体で相談して作成し、「朝学」(朝の学級活動)もしくは宿題の課題にしたもの。

教師の選択ではなく子供自身のネットワークのものがある。

係のものが好きです。自分でとってきたカブトムシの飼ひ方の図鑑など、何かあると私のところにもつてくるのは男の子の方が多いですね」

もう一つ子供が読む世界の理解のためのヒントを紹介しておく。絵本による子供の「自己」の発見」という魅力的な副題のついた守屋慶子氏の著書「子どもとファンタジー」(新曜社)の一節である。

「大人たちは、ファンタジーの世界やその世界での出来事を、彼ら自身の体験と照合することに終始し、それが終わると、安心して中断していた現実の世界を再開するのである。したがって、彼らの世界は、ファンタジーに出会う以前に比べて広がることも輝きを増すことも、ましてやその構造をつくりかえられることもほとんどない。むしろ、現実の世界はよりいっそう強固なものとなる。

これに対して、子供にとつてのファンタジーの世界は、彼らが生きている現実の世界の一部であり、かつ未知のものを含む世界である。したがって、ファンタジーの世界に出会うたびに、子供たちはそれまでに作つた自らの世界を広げたり再構築したりすることができ、ファンタジーによって、子供たちは現実の世界を拡大し再構築し、新しくすることができ、現実の世界の再構築をするだけの多くの大人たちと対照的である。」

# 「子供の夢」がふくらむ 人気ネタ全情報



●生活科研究主任のための研究動向や情報をコンパクトで紹介

●今、子どもたちはどんなものに夢中なのか子どもの等身大の夢を授業に乗せる！

◀特集ガイド



◆グラビアドキュメント＝生活科授業パフォーマンス  
 キャラクター「おもひのぼろぼろ」を演じてあそぼう 青柳 滋 1  
 ◆わがクラスの生活科パフォーマンス 内田 昌宏 5  
 ◆わが教室の生活科研究最前線 有田 和正 8

「子供の夢」と教師の願いーどんなところガズレガチャか 家光大蔵・五十嵐裕和・古石陸美 9  
 「子供の夢」をキャッチする私のアンテナ 皆川洋子・黒木恵子 10  
 今一番人気の子供商品にみる「子供の夢」 高山 英男 12  
 今一番人気の子供番組にみる「子供の夢」 阿部 進 16  
 今一番人気の子供の本にみる「子供の夢」 馬居 政幸 20  
 「子供の夢を育む支援はどつあればよいか」 松本 謙一 24

「子供の夢」を「かみ・広げ・深めるポイント」  
 夢を刺激する環境づくり 富士崎道代 28  
 夢が広がる話し合いの場づくり 高山 佳己 30  
 夢を描かせる表現の場づくり 山田 一 32  
 夢の質と量をどう高めていくか 高本 英樹 34

☆1年生の単元

学校探検＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 中島 優 36  
 通学路を歩こう＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 志村 幸子 38  
 おうちの人＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 酒田 雄康 40  
 遊ぶものづくり＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 山田 隆幸 42  
 動物と仲良し＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 塚田 賢 44  
 植物を育てる＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 白樫 静枝 46  
 植物を育てる＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 松田 泰俊 48  
 もうすぐ2年生＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 申永 典那 50

☆2年生の単元

わたしの町調べ＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 本村 真也 52  
 乗り物に乗ってみよう＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 竹林 盛 54  
 お祭りをしよう＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 山本 佳代 56  
 雨の日を楽しく＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 福岡 和信 58  
 おもちゃ大会＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 中村 昌子 60  
 昆虫を育てる＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 池田 操 62  
 子ども郵便局＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 伊藤 裕康 64  
 冬のくらし調べ＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 左合 悟 66  
 わたしの記録づくり＝「子供の夢」がふくらむ人気ネタ 米原 拓哉 68

●位階研究で図でたいわ・図のたいわ

今生活科でどんな力が育っているか 寺尾 慎一 70  
 ○往復書簡／生活科：現実と理想のハサマで対談  
 往信 心すずに朽ちたり 樋口 雅子 74  
 復申 改名に親心・この子を育てて 中野 重人 75  
 ●生活科推進校研究から見えてくるもの 1 ●  
 推進校と生活科実施推進の歩み 嶋野 道弘 76  
 ○私が生活科授業分析にこだわった理由 1 ○  
 なぜ先行研究を整理するのか 戸田 善治 78

コピーOK教材

○これは便利！すぐ使える生活科カード  
 1年「子供の夢」がふくらむ楽しいカード 常木初野・湯浅彰造 80  
 2年「子供の夢」がふくらむ楽しいカード 森下人志・福山憲市 84

◆表紙3・4／ここをみると「自然がおもしろい」・菅井啓之

◆表紙・カット／飯島英明